

対策案の評価について

地方小委員会における対策案の評価について(案)

本日の委員会では、第2回コミュニケーション活動を踏まえ、対策案の評価として、中間とりまとめを実施。

中間とりまとめ(案)

- 中部横断自動車道（長坂～八千穂）については、平成22年12月より、計画段階評価の試行に着手し、自治体や関係団体を含む地域の方々の意見を伺いながら、対策案の検討を進めてきたところ。
- 今般、これまでの検討や地域からの意見等を踏まえ、以下のとおり「中間とりまとめ」を行う。
 - ・各対策案の特徴を比較した結果、対策案としては高速道路の整備（【案①】全区間で新たに道路を整備する案 また【案②】旧清里有料道路を一部区間で有効利用する案）が有効であると考えられる。
 - ・一方で、一部地域において「環境・景観の保全」に対する根強い意見が依然として見受けられること等から、今後、高速道路の整備を基本的な方向性としつつ、追加的なコミュニケーション活動を実施したうえで、当委員会の最終的な評価をとりまとめる。